

# 日仏医学会・日仏薬学会 合同講演会御案内

LA SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE MÉDECINE · LA SOCIÉTÉ FRANCO-JAPONAISE DE PHARMACIE

## WHO（世界保健機関）と日本 —1995年エボラ熱制圧と今—

赤阪 清隆 フォーリン・プレスセンター理事長  
国際連合 前事務次長

### プロフィール

1948年大阪府生まれ。京都大学法学部、英国ケンブリッジ大学経済学部卒。

外務省に入省後 GATT、世界保健機関（WHO）事務局、国連日本政府代表部大使、OECD事務次長などを経て2007年～2012年3月までは国連広報担当事務次長（広報局長）

近著：「国際機関で見た「世界のエリート」の正体」（中公新書ラクレ）

**講演要旨** 目下、エボラ熱が西アフリカで猛威を振るっている。この対策の出足が遅れたWHOに世界の批判が続いている。しかし、1995年にエボラ熱が旧ザイールを襲った時、WHOの対応は驚異的に迅速で、死者も200名あまりに抑えて終息させた。その時のWHO事務局長は、日本人の中嶋宏氏だった。中嶋事務局長は、WHOのマネジメント面で西欧諸国から批判を浴びたことで知られているが、エボラ熱やポリオ、ハンセン氏病などの感染症対策や必須医薬品リストの創設に見事な指導力を発揮したのだった。今こそ、このような知られざる業績を再評価し、意気を感じた日本の若者の中から将来のグローバル・リーダーが多数輩出し、世界を相手に活躍することを期待する。

**日時：** 2015年3月15日（日）午後2時～4時

**場所：** 日仏会館 会議室501号室（地図参照）  
東京都渋谷区恵比寿3-9-25

**参加費：** 無料（御出席の方は当日直接会場へお越し下さい）  
ワインで簡単な懇親会を予定しております（無料）

**問合せ先：** 電話 090-4036-3786 <sup>ぎが</sup>（儀我）

**主催** 日仏薬学会  
**共催** 日仏医学会

JR、東京メトロ日比谷線恵比寿駅  
東口から「動く歩道」経由で徒歩  
10分

